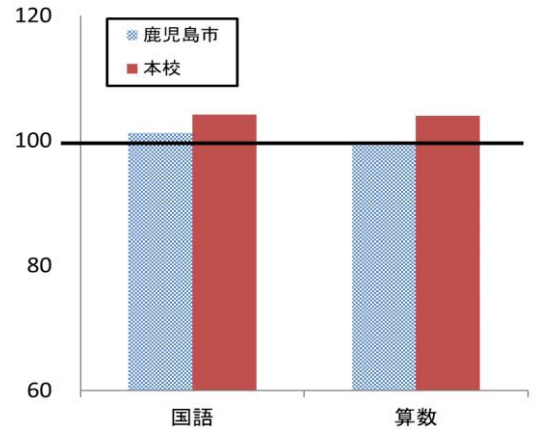


令和5年度 全国学力・学習状況調査【結果】より

本年度4月18日、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が7月末に公表されました。本年度の喜入小6年生の平均正答率は、全国や鹿児島県、鹿児島市を上回っています。また、児童質問紙では、新聞を読むことや地域との交流、ICT機器を活用した授業に対し、前向きな回答が多く見られました。児童の頑張りとともに、保護者の皆様の御協力に感謝いたします。ここでは、県の正答率と比較しながら本校児童の課題を述べます。

【全国正答率を100としたときの喜入小・市のグラフ】



1 国語「書くこと」で見られた課題

示された条件に基づいて自分の考えが伝わるように書くこと

■ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表す問題（正答率36.2%）

資料（文章や図、表等）をもとに、学校の米作りの問題点とその解決方法について、次の条件を満たして書き表す問題でした。※問題については別紙を御覧ください。

- 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章のグラフ】と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については【カード③】をもとにして書くこと。
- 60字以上、100字以内にまとめて書くこと。

条件は、いくつあるでしょう。ぱっと見た感じでは「3つ」ですが、問題点については、【川村さんの文章のグラフ】と【カード④】からそれぞれ書くことになっています。実質、条件は「4つ」と言えます。喜入小の子どもたちは35%の子が、【川村さんの文章のグラフ】か【カード④】のどちらかにしかふれていないため誤答となっています。

■ 改善に向けて

そこで、本校では、様々な教科において、条件に基づいて自分の考えを表現する活動に取り組みます。また、「ぱっ」と見て判断できる分かりやすい資料や文章だけでなく、文章や図・表・グラフ等を関連付けながら整理しながら読み進める活動に取り組み、そのよさを実感させていきます。

2 算数「図形」領域で見られた課題

図・式・言葉を結び付けながら理解を深めていくこと

■ 台形の意味や性質についての理解を問う問題（正答率55.3%）

つくられた四角形の名称が台形であることは分かっている、その理由として、

- 向かい合った2組の辺が平行な四角形だから
- 向か合った辺の長さが等しい四角形だから

を選択する姿がありました。図のイメージと言葉が結び付いていない実態があります。

■ 改善に向けて

そこで、本校では、友達の示した「図」を見て、友達の考え方を予想し「言葉」で表現することや友達が「式」で表現したことを「図」や「言葉」を用いて解説したりする活動を授業に取り入れ、他者の「図」や「式」をよむ活動を充実させていきます。

(1) かいなさんは、下のようにテープを直線で切って、①、②、③、④のような四角形をつくります。



①、②、③、④について、どのような四角形なのかを、次のようにまとめます。

①、②、③、④はどれも	①	です。
なぜなら、	②	だからです。

3 児童質問紙で見られた課題

【早寝早起き】【自分にはよいところがあるか】【地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか】【読書は好きか】【困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか】

そこで、本校では、「お互いのよさを認め合い、いかす対話活動」「総合的な学習の時間を中心に、地域のよさや地域とのかかわりについて考え、行動する学習」「図書室へ行くルーティーンづくり」「傾聴と共感を大切にした学級経営」などを大切にしながら、自分が分かったことや自分の行動、自分の成長を実感できる振り返りの活動を取り入れていきます。御家庭でも、「早寝・早起き・朝ご飯」等、基本的な生活習慣の育成をよろしく願います。また、本校6年生では、音読への取組により、読解力の高まりが見られました。家庭でも音読や読み聞かせなどの活動に取り組んでくださいますよう、願います。